

剣戟と戦略、異能の大河戦記『狂え虹色 戦国志』発売！



才なき奴隷兵から不屈の大將軍へと這い上がり、戦人は人間社会へ叛逆する。

「負けても死んでも認められなくても、自分らしく生きんと悔いまくって禿げてしまうよ？」

★Amazonにて1～4巻 順次刊行の戦記小説です★

【第一章 ホームレス大將軍は巫女を育てる】

14歳の碧（みどり）は幼くして朝廷により家族と村を奪われ、誰にも甘えられずに放浪してきた。食べるために戦った。限界だった。だが自分よりも熾烈な境遇を闘い抜き、最高位の武士となった義虎（よしとら）を知って奮起し、その旗下へ入隊する。

国境の戦場で。しかも敗戦し落ち延びる。朝廷は義虎の責任を問い、兵権と領地を没収した。

しかし《戦と謀（はかりごと）の鬼》を自称する義虎は、碧の宿命を看破した。

「かつて英雄《雷神》《風神》は《民が平和で自由な世》を志した。信念を違える朝廷に討ち取られた……君は風神の血を継いどる。義虎は雷神の業（わざ）を継いどる。そして朝廷は君が生きると見抜きながら義虎と合流するを許した……もし闘いたくなったら、とことん付き合うよ」

ここに、朝廷という人間社会へ牙をむく宿命と革命が動き出す。

叛逆への道は長い。目の前にいる外敵へ手こずっている場合ではない。だが戦の天才たる敵将・孫悟空へ対し、非才の義虎はこれまで一度も勝てていない。

宇宙、四神、六道……神々の競演するような異能が爆ぜるなかで接近戦しかできず、心を捨て修羅の場数を重ねに重ね、圧倒的な戦闘力、超人的な洞察力、絶対的な精神力を叩き上げた義虎は、この窮地を跳ねのけられるのか 碧は戦と謀を学んで強くなれるのか

「トラになら甘えられる！」

そして碧ら教え子をもった義虎は、唐突に宝石の授業をしたり、ぼろ屋敷を壊され断罪の寸劇をしたり、初めて見るケーキの宴に乱舞したりと見える景色が変わるなかで、捨てて久しい人間らしい心を取り戻していく……。

これは、陰謀と因縁の渦巻く列強諸国に命を狙われながら、己の限界を遥かに凌駕する灼熱の《猿虎合戦》や《高句麗独立戦争》、《エジプト七国大戦》へ咆哮し力を磨き、来るべき叛逆の日を信じて暗躍し、時代の猛威を斬り伏せていく大河戦記である。

2023年5月25日 より、アメージング出版さまにて書籍化販売しております。

ご興味をもたれましたら、Amazonにて試し読みもできますので、冷やかしていただければ幸いです。

Generated by ふれりりプレスリリース
<https://www.prerele.com>